

件 名	関西ワールドマスターズゲームズ 2021 開催希望競技の申請について
経過・現状 大会概要	<p>○ワールドマスターズゲームズとは、国際マスターズゲームズ協会（IMGA）が4年ごとに主催する、原則30歳以上であれば誰でも参加できる生涯スポーツの国際大会。</p> <p>○2021年にアジア初となる大会が関西一円で開催。</p> <p>○2021年(H33)5月15日～30日までの16日間で、コア競技16競技とオプション競技約14競技を合せ、約30競技を開催。その他、オープン競技やデモンストラーション競技を開催する予定。</p> <p>○参加者数は、150の国と地域から約5万人を見込んでいる。</p>
対応方針 今後の取組 (案)	<p>○J-GREEN堺でのサッカー及びフットサル競技の開催を申請する。</p> <p>○サッカー・フットサルの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者目標 合計約6,000人（サッカー3500人、フットサル2500人） ・大会規模 約10日間でサッカー600試合、フットサル900試合 <p>○開催経費</p> <p>組織委員会の算出方法を堺市に充てると 概算開催経費約6000万円、うち堺市の負担額約5300万円と試算 (本市負担分については、平成25年から32年にかけて負担) ※組織委員会に支払う負担金以外に、主要駅から会場までのバス送迎等のおもてなし費等が必要</p> <p>○今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年7月 各府県市からの開催希望の申し出 ⇒関西WMG事務局による競技開催希望の調整 ・平成28年10月 各競技の開催地の決定 ⇒各府県市による「地区別実行委員会」の設置 ・平成29年(2017) ワールドマスターズゲームズ・オークランド大会 ・平成33年(2021) 関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催
効果の想定	<p>○競技開催の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のスポーツへの関心の向上 ・生涯スポーツの推進 ・堺の国内外へのPR ・スポーツツーリズムと地域の活性化 ・国際化の促進 <p>○経済波及効果</p> <p>堺市域 約24億5,800万円</p>
関係局との 政策連携	○地域の活性化、国際交流、観光推進など、庁内関係部署との連携



関西ワールドマスターズゲームズ2021 開催希望競技について



日本最大級のサッカー・トレーニングセンターJ-GREEN堺で サッカー、フットサルの開催を申請します

1 ワールドマスターズゲームズとは

- ・国際マスターズゲームズ協会（IMGA）が4年ごとに主催
- ・原則30歳以上であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会
- ・平成25年11月、2021年大会（第10回大会）でのアジア初となる日本（関西）開催が決定
- ・平成26年12月、12府県市と経済団体等で組織委員会を設立し、開催に向けた準備を実施

2 大会の概要（全体）

- 1 開催期間 2021年（H33）5月15日（土）～30日（日）（16日間）
- 2 開催競技
 - ・コア競技 アーチェリー、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、カヌー、自転車、ホッケー、サッカー・フットサル、オリエンテーリング、ボート、射撃、ソフトボール、スカッシュ、卓球、トライアスロン、ウエイトリフティング（16競技）
 - ・オプション競技（候補） 野球、ボウリング、ダンス、ゴルフ、ハンドボール、柔道、空手道、ラグビーフットボール、セーリング、水泳、テニス、綱引、バレーボール など（約14競技）
 - ・オープン競技 コア・オプション以外の競技で、競技記録は参考記録となりIMGA公式メダルの対象外となる。
 - ・デモンストレーション競技 上記以外の競技で、地区別実行委員会単位の開催が可能
- 3 開催場所 関西一円 *2016(H28)年10月に各競技種目の会場地を決定（予定）
- 4 参加者目標 選手5万人
*国内3万人、国外2万人：150以上の国と地域
- 5 主催 一般財団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会
- 6 共催 公益財団法人日本体育協会

3 本市の対応

全競技中最多の参加者を、一会場で効率的に受け入れ可能なJ-GREEN堺を活用して

コア競技のうち **サッカー・フットサル** の開催を希望

- 1 参加者目標 合計約6,000人（サッカー3500人、フットサル2500人）
- 2 開催場所 J-GREEN堺（全面使用・サッカー600試合、フットサル900試合）
- 3 競技期間 約10日間（全体開会式・閉会式を除く日程）

4 開催経費（サッカー・フットサル開催の場合）

組織委員会の算出方法を堺市に充てると

概算開催経費約6000万円、うち堺市の負担額約5300万円と試算

（本市負担分については、平成25年から32年にかけて負担）

※組織委員会に支払う負担金以外に、主要駅から会場までのバス送迎等のおもてなし費等が必要

5 競技開催地決定や大会開催までのスケジュール

平成27年(2015)7月 各府県市からの開催希望の申し出

⇒その後、組織委員会による競技開催希望の調整

平成28年(2016)10月 競技開催地の決定

各府県市による「地区別実行委員会」等の設置

検討課題：競技開催・生涯スポーツの機運向上・スポーツ

ツーリズム、地域の活性化

平成29年(2017)

ワールドマスターズゲームズ・オークランド大会

（平成31年(2019)

ラグビーワールドカップ日本大会)

（平成32年(2020)

東京オリンピック・パラリンピック)

平成33年(2021)

関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催

6 関西ワールドマスターズゲームズの堺市での競技開催の効果

★国際的なスポーツイベントの日本開催

・平成31年(2019) ラグビーワールドカップ日本大会

・平成32年(2020) 東京オリンピック・パラリンピック

自ら参加できる生涯スポーツの国際大会
平成33年(2021) 関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催
堺市でサッカー・フットサルを開催

■堺市での競技開催の効果

- 市民のスポーツへの関心の向上
- 生涯スポーツの推進
- 堺の国内外へのPR
- スポーツツーリズムと地域の活性化
- 国際化の促進

スポーツタウン・
堺の実現

【参考】経済波及効果の試算

★競技期間中、約6,000人の競技者と、さらに同行者が堺とその周辺地域に滞在
堺市域 約24億5,800万円（*H27.6 (公財)堺都市政策研究所 試算）

★大会期間中、約5万人の競技者と、さらに同行者が関西一円に滞在
関西全体 約140億円（*H25.9 スポーツコミッション関西 試算）